

経営比較分析表（令和4年度決算）

神奈川県横浜市 脳卒中・神経脊椎センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	10	-	ドI訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
3,753,645	38,737	非該当	非該当	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
300	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	300
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
300	-	300

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

政策的医療を含む中枢神経全般に対する高度急性期・急性期から回復期までの一貫した医療機能を活かし、「脳卒中」「神経疾患」「脊椎髄疾患」「リハビリテーション」の専門病院として先進的な医療と臨床研究に取り組んでいます。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は、引き続き認知症ケアや食事介護が必要となる新型コロナウイルス感染症患者を幅広く受け入れるとともに、脳血管疾患を中心に「断らない救急」を徹底しました。また、脊椎や関節等の運動器の疾患についても高度な治療を実施することで市民の健康寿命延伸に尽力しました。救急車搬送患者受入件数、手術件数、病床稼働率は軒並み増加・上昇しました。エネルギー価格の高騰による費用増の影響を受けましたが、入院・外来収益の増収とコロナ対応に伴う補助金により、昨年度に引き続き経常黒字となりました。

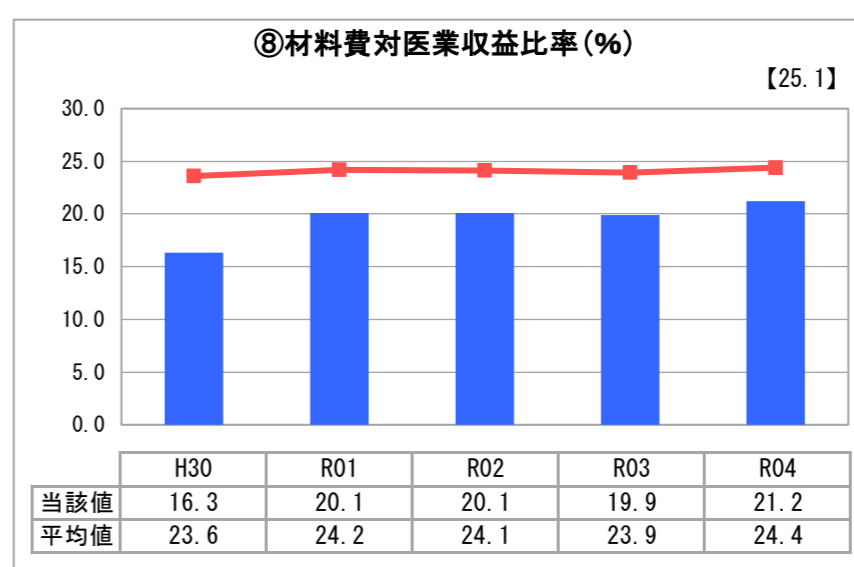
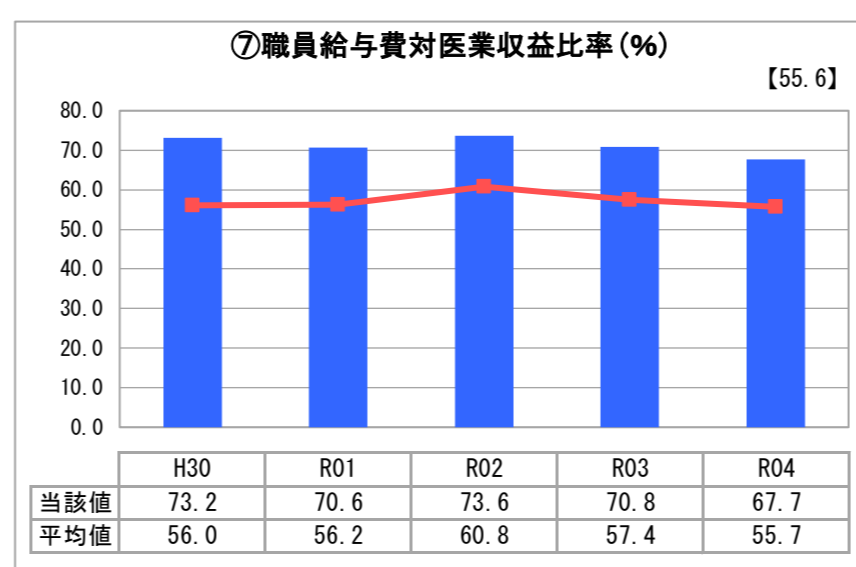
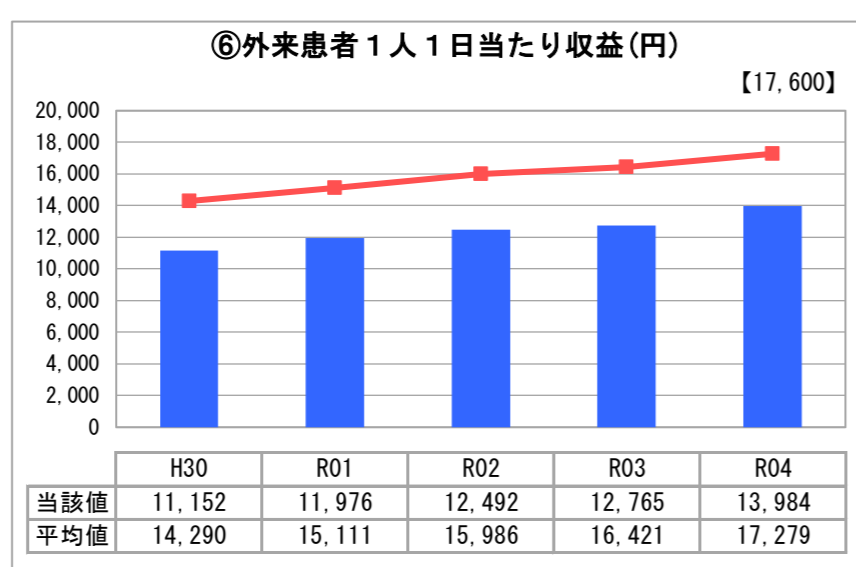
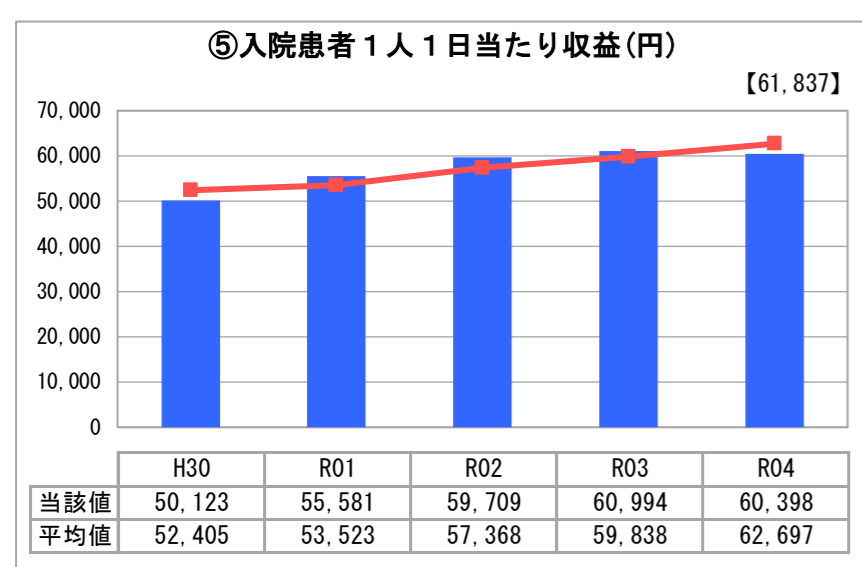
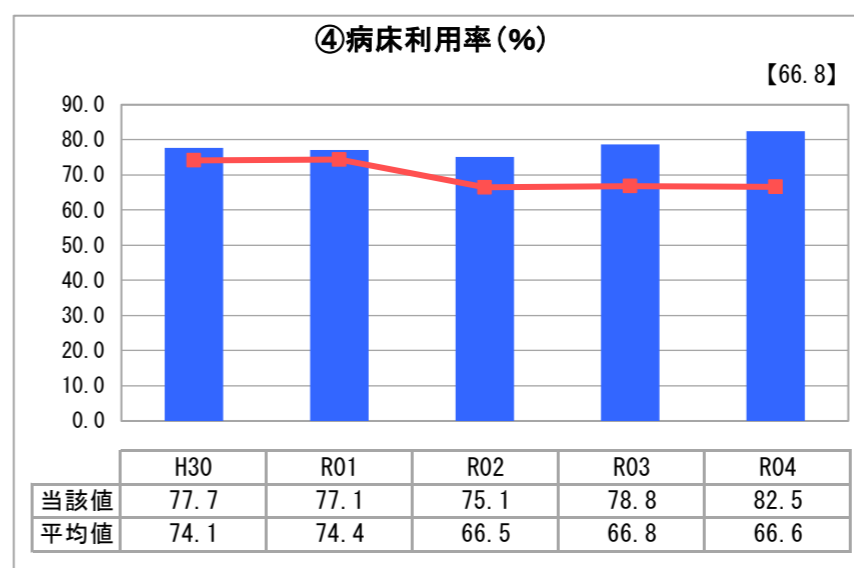
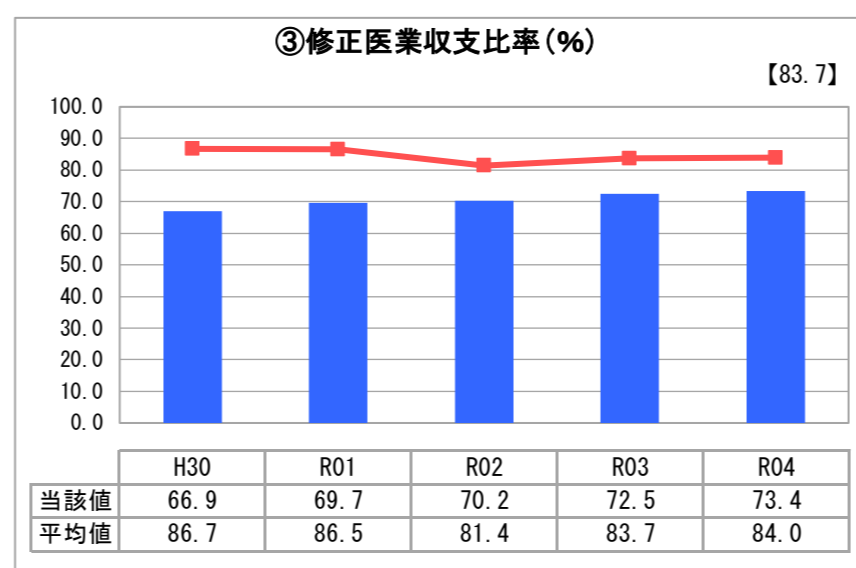
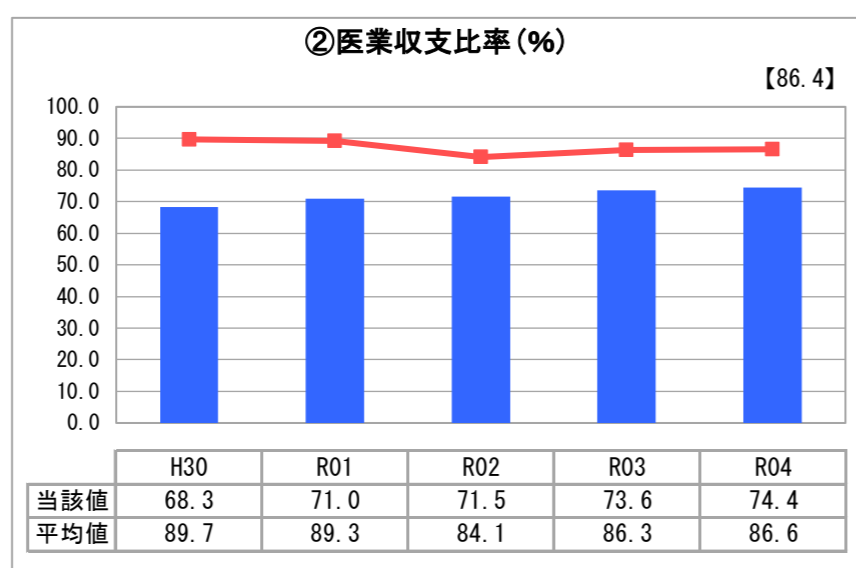
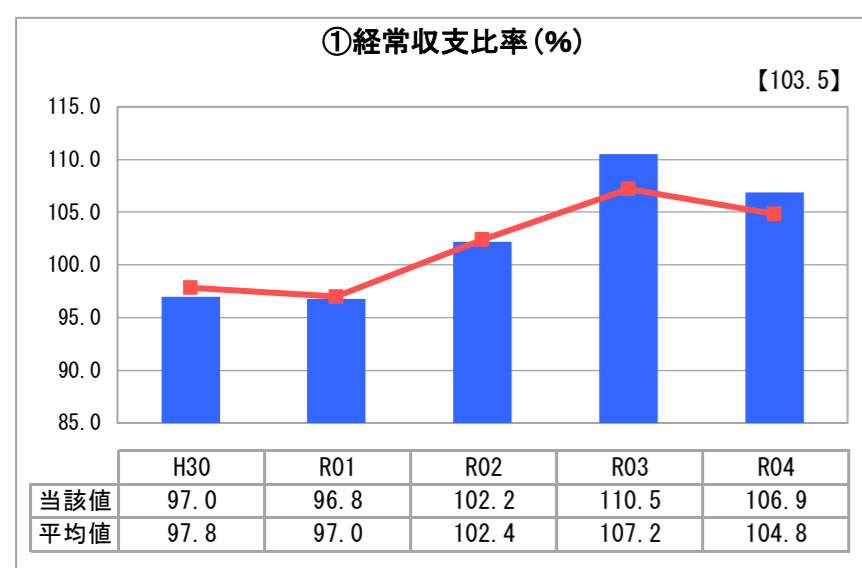
2. 老朽化の状況について

平成11年開院の施設であり、建物等の設備についてしゅん工から20年以上が経過する中、老朽化の影響が少しずつ発生してきています。今後は、適切な修繕計画に基づき、メンテナンスを行っていく必要があります。

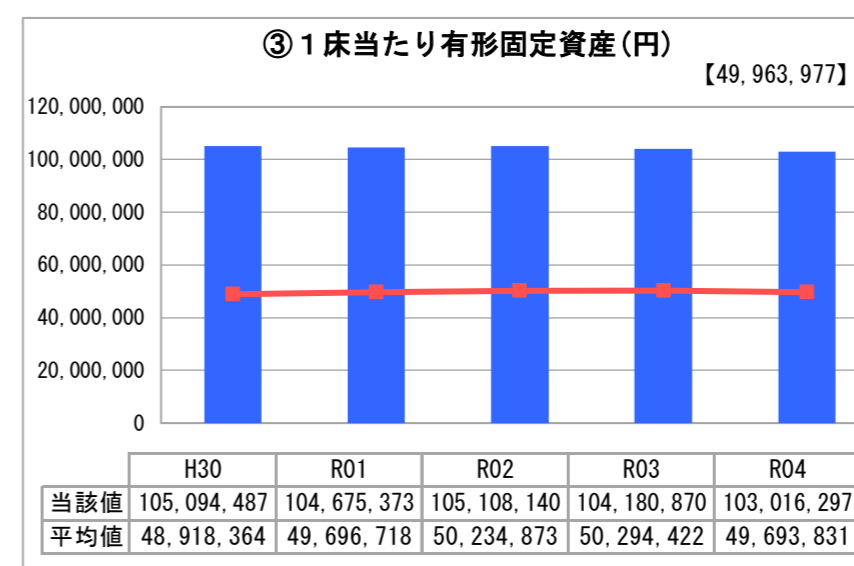
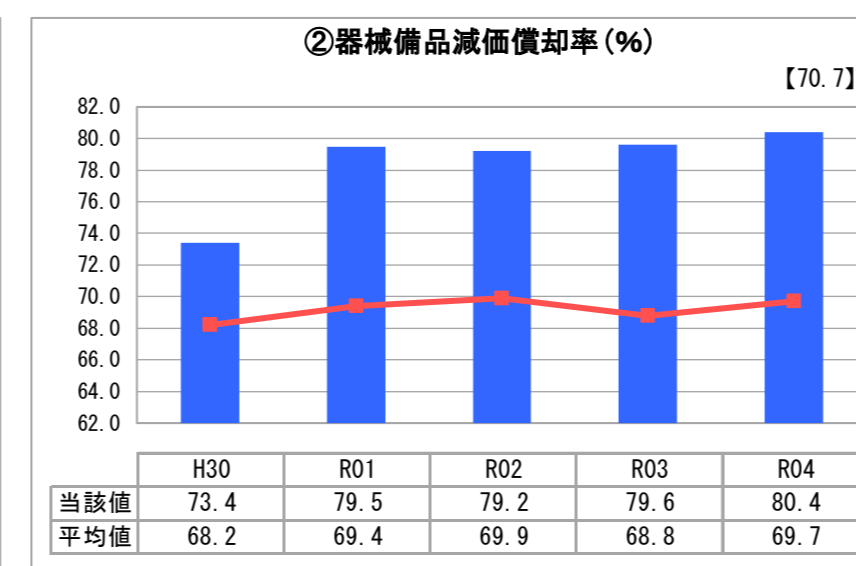
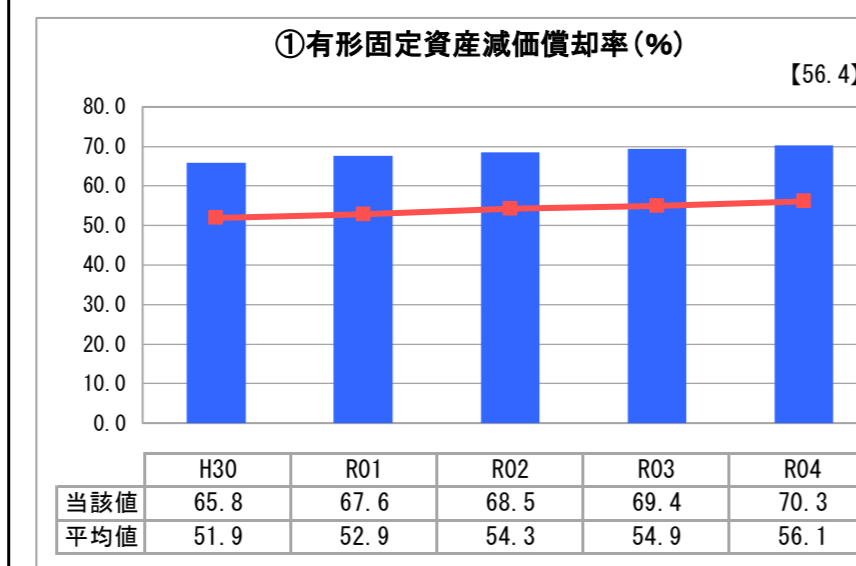
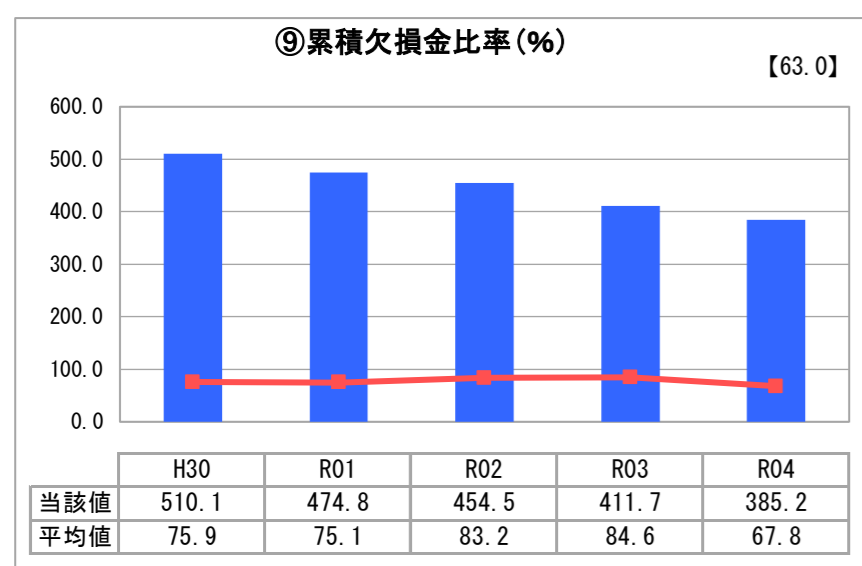
全体総括

他の医療機関からの紹介や外来診療からの新規入院患者を増加させ、予定入院・予定手術の対象となる患者の割合を高めることで医療収益の安定的確保を図ります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。